

## DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース3 (愛称:いわぎん HIRAIZUMI)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次運用レポート  
2012年5月

### 商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。

主にグローバル・ボンド・ポート・マザーファンドへの投資を通じ、日本を除く世界主要国の公社債へ投資し、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)を上回る運用成果をめざします。

運用にあたってはDIAM International Ltdのアドバイスを参考にします。

高格付(A格以上)の債券に限定します。

毎月10日(休業日の場合には翌営業日)に決算を行い、原則として利子等収益の範囲内で分配を行うことをめざします。また、毎年6月、12月の決算時には、原則として利子等収益に売買益(評価益を含みます)等を加えた額から分配を行うことをめざします。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

### 主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- |       |   |
|-------|---|
| 金利リスク | 一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。                                       |
| 為替リスク | 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 信用リスク | 実質的に投資する債券や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。                             |

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

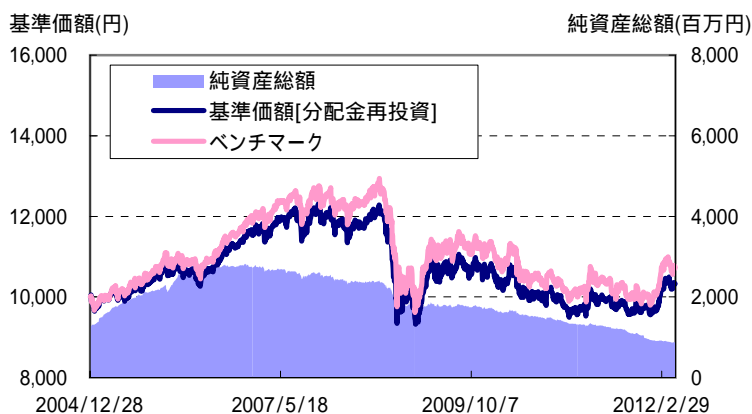
**当資料は6枚ものです。P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。  
なお、別紙1も併せてご確認ください。**

設定・運用は  
DIAMアセットマネジメント 

商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会： 社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会

**DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース3(愛称:いわぎん HIRAIZUMI)**  
**追加型投信 / 海外 / 債券**  
**月次運用レポート (2012年5月)**

**運用実績の推移**



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)

( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 ベンチマークは、2004年12月28日の値を10,000として指数化して表示しています。(設定日：2004年12月29日)  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**基準価額・純資産総額**

基準価額	7,233 円
解約価額	7,219 円
純資産総額	870 百万円

**ポートフォリオ構成**

実質組入比率	97.1 %
内現物等組入比率	97.1 %
内先物等組入比率	0.0 %
現金等比率	2.9 %
組入銘柄数	50

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

**ポートフォリオの状況**

	ファンド	世界国債インデックス	差
平均複利回り	1.55%	1.93%	-0.38%
平均クーポン	4.29%	3.38%	0.91%
平均残存期間	8.70	7.93	0.77
修正デュレーション	6.48	6.15	0.33

- 1 マザーファンドにおける状況を表示しています。
- 2 世界国債インデックスとは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)です。

**騰落率(税引前分配金再投資)**

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	3年 (2009/04/30)
当ファンド	-0.53%	6.68%	5.01%	2.65%	-3.44%	-2.99%
ベンチマーク	-1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	-4.25%	-2.68%
差	0.74%	-0.27%	-2.08%	1.49%	0.81%	-0.31%

- 1 当ファンド騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**分配金情報(税引前)**

**直近3年分**

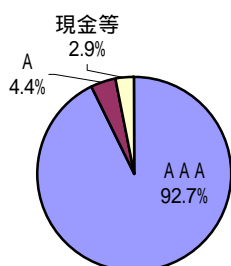
第52期 (2009.05.11)	30 円	第64期 (2010.05.10)	30 円	第76期 (2011.05.10)	30 円
第53期 (2009.06.10)	30 円	第65期 (2010.06.10)	30 円	第77期 (2011.06.10)	20 円
第54期 (2009.07.10)	30 円	第66期 (2010.07.12)	30 円	第78期 (2011.07.11)	20 円
第55期 (2009.08.10)	30 円	第67期 (2010.08.10)	30 円	第79期 (2011.08.10)	20 円
第56期 (2009.09.10)	30 円	第68期 (2010.09.10)	30 円	第80期 (2011.09.12)	20 円
第57期 (2009.10.13)	30 円	第69期 (2010.10.12)	30 円	第81期 (2011.10.11)	20 円
第58期 (2009.11.10)	30 円	第70期 (2010.11.10)	30 円	第82期 (2011.11.10)	20 円
第59期 (2009.12.10)	30 円	第71期 (2010.12.10)	30 円	第83期 (2011.12.12)	20 円
第60期 (2010.01.12)	30 円	第72期 (2011.01.11)	30 円	第84期 (2012.01.10)	20 円
第61期 (2010.02.10)	30 円	第73期 (2011.02.10)	30 円	第85期 (2012.02.10)	20 円
第62期 (2010.03.10)	30 円	第74期 (2011.03.10)	30 円	第86期 (2012.03.12)	20 円
第63期 (2010.04.12)	30 円	第75期 (2011.04.11)	30 円	第87期 (2012.04.10)	20 円
					累計分配金 3,220 円

- 1 分配金は1万口当たり
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

シティグループ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

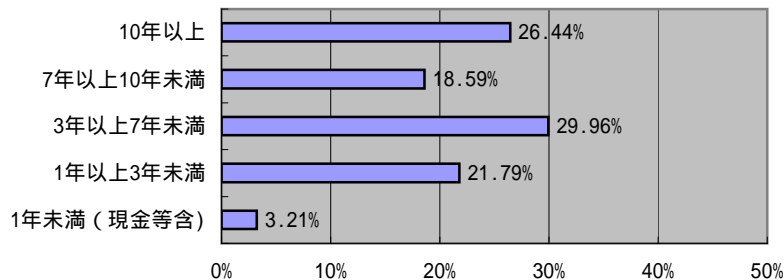
当資料は6枚ものです。  
 P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

**DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース3(愛称:いわぎん HIRAIZUMI)**  
**追加型投信/海外/債券**  
**月次運用レポート(2012年5月)**

**格付別構成比**

格付については、海外格付機関（S&PおよびMoody's）による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

**残存別構成比**

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

**通貨別構成比**

通貨名	通貨別組入状況			修正デュレーション		
	組入債券	為替予約 ・先物	計	ファンド	世界国債 インデックス	差
北米	USドル	0.00%	55.99%	5.23	5.44	-0.21
	カナダ・ドル	0.00%	5.64%	7.91	6.26	1.65
中南米	メキシコ・ペソ	0.00%	0.00%	-	5.72	-
欧州	イギリス・ポンド	0.00%	5.47%	8.77	9.63	-0.86
	スイス・フラン	0.00%	0.00%	-	6.52	-
	デンマーク・クローネ	0.00%	0.90%	8.46	7.97	0.49
	ノルウェー・クローネ	0.00%	0.34%	4.31	3.76	0.55
	ユーロ	0.00%	25.80%	8.92	6.28	2.64
	スウェーデン・クローネ	0.00%	0.70%	6.78	6.35	0.43
	ポーランド・ズロチ	0.00%	0.77%	2.60	4.08	-1.48
	アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	0.00%	1.45%	4.21	4.53
	シンガポール・ドル	0.00%	0.00%	-	6.11	-
	マレーシア・リングギット	0.00%	0.00%	-	4.66	-
	現金等	-	2.94%	-	-	-

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。また、世界国債インデックスとは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)です。

**国別構成比**

発行国	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	米国	41.49%	14.50%
	カナダ	2.94%	2.70%
	計	44.43%	17.20%
中南米	メキシコ	0.96%	-0.96%
	計	0.96%	-0.96%
欧州	オーストラリア	1.79%	-1.79%
	ベルギー	2.59%	-2.59%
	フィンランド	0.65%	2.04%
	フランス	9.70%	-3.22%
	ドイツ	9.35%	3.70%
	アイルランド	0.70%	-0.70%
	イタリア	9.11%	-9.11%
	オランダ	2.71%	-2.71%
	スペイン	4.45%	-0.86%
	ユーロ計	41.05%	-15.25%
	デンマーク	0.89%	0.01%
	スウェーデン	0.61%	0.09%
	スイス	0.43%	-0.43%
	英国	8.01%	-2.54%
	ポーランド	0.75%	0.02%
ノルウェー	0.35%	-0.01%	
	計	52.09%	-18.11%
アジア・オセアニア	オーストラリア	1.57%	-0.12%
	シンガポール	0.40%	-0.40%
	マレーシア	0.54%	-0.54%
	計	2.51%	-1.07%
現金など	-	-	-
合計	100%	100%	-

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。また、世界国債インデックスとは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)です。

当資料は6枚ものです。  
P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



**DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース3(愛称:いわぎん HIRAIZUMI)**  
**追加型投信 / 海外 / 債券**  
**月次運用レポート (2012年5月)**

**組入上位10銘柄****(単位: %)**

No	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	通貨	格付	組入比率
1	米国財務省証券	国債	4.25%	2015/08/15	アメリカ	米ドル	AAA	10.30
2	米国財務省証券	国債	4.25%	2013/08/15	アメリカ	米ドル	AAA	9.49
3	米国財務省証券	国債	4.00%	2014/02/15	アメリカ	米ドル	AAA	8.53
4	米国財務省証券	国債	2.63%	2020/11/15	アメリカ	米ドル	AAA	6.82
5	米国財務省証券	国債	4.50%	2017/05/15	アメリカ	米ドル	AAA	4.95
6	ドイツ国債	国債	3.25%	2021/07/04	ドイツ	ユーロ	AAA	4.73
7	フランス国債	国債	6.00%	2025/10/25	フランス	ユーロ	AAA	4.59
8	米国財務省証券	国債	4.25%	2039/05/15	アメリカ	米ドル	AAA	4.55
9	ドイツ国債	国債	3.25%	2042/07/04	ドイツ	ユーロ	AAA	2.90
10	米国財務省証券	国債	2.75%	2019/02/15	アメリカ	米ドル	AAA	2.77

1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

2 格付については、海外格付機関 (S&PおよびMoody's) による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

**4月のマーケット動向と当ファンドの動き**

世界の主要金融市場では、欧州債務問題や米国の経済指標の改善傾向の鈍化から市場のリスク回避の流れが続き、主要国の国債利回りは概ね低下(価格は上昇)しました。

欧州ではスペイン国債の入札結果が不調だったことから同国の財政・景気見通しに不透明感が高まったことに加え、財政再建をめぐる対立によりオランダ内閣が総辞職したことなどから欧州の財政懸念が強まりました。緩やかな景気回復が続いていた米国でも雇用等の一部経済指標が失速したことから利回りが低下し、また、中国でも軟調な2012年1-3月期の実質GDP(国内総生産)成長率から景気減速への警戒感が広がりました。5月はじめにはギリシャの総選挙やフランスの大統領選挙等のイベントが控えていることから先行きは不透明であり、月を通じて市場のリスク回避の流れが続きました。

為替市場では、欧州債務問題などによる市場のリスク回避の動きから主要通貨に対して円高が進み、ドル/円相場は前月末の1ドル=82円台から81円台へ、ユーロ/円相場は同1ユーロ=109円台から107円台へ下落しました。

債券利回りは中長期的に上昇すると考えていますが、短期的に低下する可能性を考慮してポートフォリオ全体のデュレーションをベンチマークに対して長期化しています。ただし、米国国債の利回りはレンジでの推移を想定しており、利回りが上昇した月初はデュレーションを長期化し、利回りが低下した中旬以降はベンチマークと同水準に保ちました。通貨配分については、引き続き米ドルをオーバーウェイト、ユーロをアンダーウェイトとするポジションを継続しています。

**今後のマーケットの見通しと運用方針**

世界経済は総じて緩やかな回復を続けていますが、欧州経済は当面厳しい状況が続くと予想しています。ECB(欧州中央銀行)の資金供給オペレーションにより国債市場は比較的落ち着いていますが、根本的な解決には各国の財政と金融機関の財務状況を再建する必要があります。しかし、ギリシャやスペインで顕著である若年層を中心とした失業率の上昇が示す通り南欧諸国の実体経済は疲弊しており、経済成長が難しい状況にあります。米国は緩やかな景気回復が続くと思われるものの、2014年後半まで続く見込まれる低金利政策や追加金融緩和への期待から、低い水準での利回りの推移を想定しています。

現在の債券利回りは割高な水準にありますが、投資家のリスク許容度が低下した現時点では利回りの上昇が難しい環境にあります。そのため、短期的には日々のニュースに左右される変動幅が大きい展開を考えており、レンジを意識したデュレーションコントロールを行う方針です。通貨配分については、ユーロ圏の根本的な解決には時間を要するとの見通しからユーロのアンダーウェイト、米ドルのオーバーウェイトを継続する方針です。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は6枚ものです。

P.6の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAMアセットマネジメント**



**DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース3(愛称:いわぎん HIRAIZUMI)**  
**追加型投信 / 海外 / 債券**  
 月次運用レポート (2012年5月)

**お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行のいずれかの休業日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限です。(設定日:2004年12月29日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 受益権口数が10億口を下回ることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

**お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	<b>購入価額に1.26%(税抜1.2%)を上限として</b> 各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	<b>ありません。</b>
信託財産留保額	<b>換金申込日の翌営業日の基準価額に0.2%</b> を乗じて得た額とします。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(信託報酬)	<b>信託財産の純資産総額に対して年率0.8925%(税抜0.85%)</b> を日々ご負担いただきます。
その他費用・手数料	組入有効証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

**DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース3(愛称:いわぎん HIRAIZUMI)**  
**追加型投信 / 海外 / 債券**  
**月次運用レポート (2012年5月)**

**投資信託ご購入の注意**

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

**当資料のお取り扱いについてのご注意**

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

お申込みの際は、販売会社からお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月11日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、実質的に債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

ファンドの関係法人

< 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社

< 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社

< 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください

< 投資顧問会社 > DIAM International Ltd

委託会社の照会先

DIAMアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-506-860

(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

**販売会社 (お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)**

印は協会への加入を意味します。

2012年5月11日現在

商号	登録番号等	日本証券 業協会	社団法人 日本証券 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会	備考
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第3号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号					

その他にもお取り扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は6枚ものです。

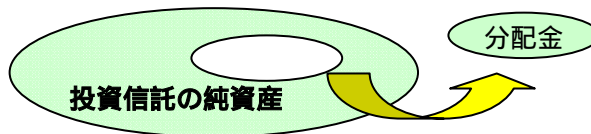
設定・運用は

**DIAMアセットマネジメント**



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

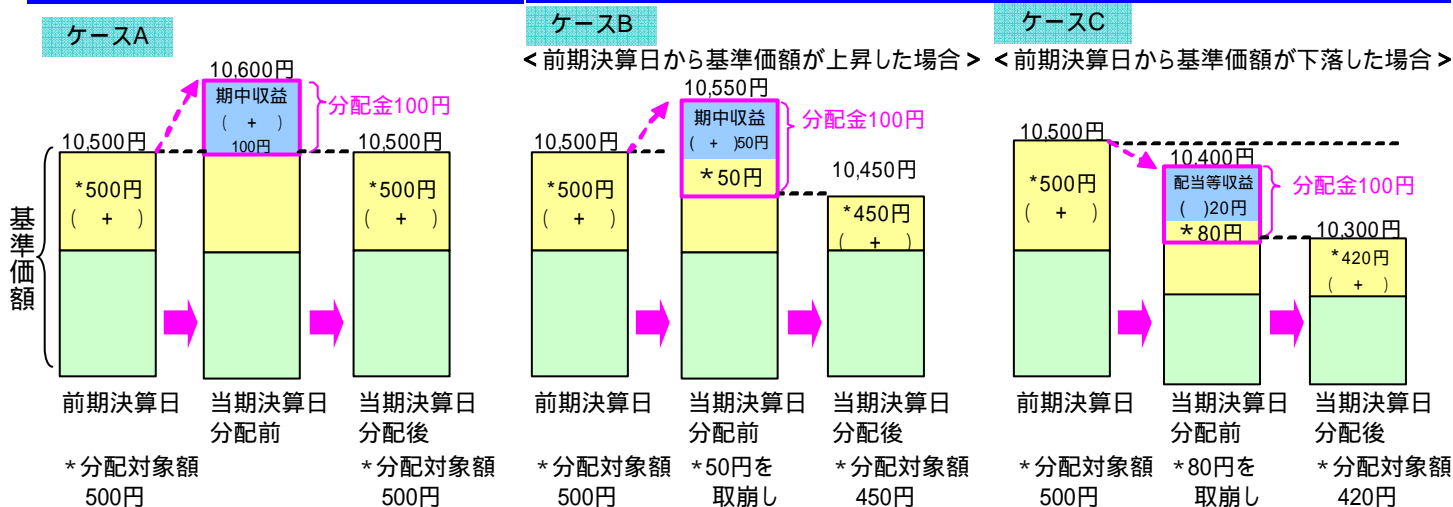
### 分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、 有価証券売買益・評価益(経費控除後)、 分配準備積立金、 収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円  
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円  
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

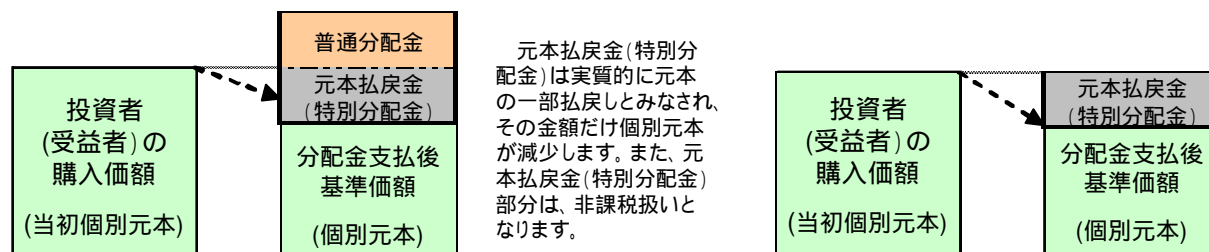
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



**普通分配金**: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金(特別分配金)**: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。  
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。